

NEWSLETTER No.100 ISSN 1340-5578 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ**
 The Society for Research in Asiatic Music May 19, 2017

一般社団法人 **東洋音楽学会** **会報** 第**100**号

発行 一般社団法人東洋音楽学会
 事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
 ●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://tog.a.la9.jp

目次

第68回大会のご案内	1	芸術学関連学会連合に関するお知らせ	5
第68回大会の研究発表募集	2	日本学術振興会育志賞の学会推薦について	6
第34回田邊尚雄賞受賞者発表	2	東日本支部からのお知らせ	6
第35回田邊尚雄賞アンケートのお願い	3	第12回日中音楽比較研究国際学術会議のお知らせ	6
第10回通常理事会議決事項のお知らせ	3	会員異動	7
名簿作成委員会からのお知らせ	3	図書・資料等の受贈	8
メールアドレス変更通知のお願い	3	新刊書籍	8
会員の受賞	3	新発売視聴覚資料	9
会費納入のお願いと会費割引のお知らせ	4	編集後記	10
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	4	第10回通常理事会添付書類	11
ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ	4		

第68回大会のご案内

一般社団法人東洋音楽学会は、平成29年度の研究発表大会および公開講演会等を以下の通り開催します。どうぞふってご参加ください。なお、観光客の増加で那覇市周辺はホテルがとりにくくなっています。できるだけ早く、航空券と宿泊手配をされることをお勧めします。

- ◇日時 2017年11月11日(土)～12日(日)
- ◇会場 沖縄県立芸術大学首里^{とうのくら}キャンパス
〒903-8602 沖縄県那覇市首里^{とうのくら}当蔵町1-4
- ◇日程
〔第1日〕11月11日(土) 奏楽堂ホール(予定)
13:00 開会挨拶
13:20 公開講演会* (仮)「沖縄民謡のアーカイヴ」
宮沢和史(元 The Boom ヴォーカリスト)
公開シンポジウム*(仮)「三線製作とその伝承の課題」
宮沢和史ほか(予定)
司会:小西潤子(沖縄県立芸術大学)

*の詳細は、後日学会ホームページでお知らせします。

- 15:20 公開演奏会 沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻
解説:金城厚(沖縄県立芸術大学)
- 16:20 田邊尚雄賞授賞式
- 16:50 第6回定時社員総会
- 18:30 懇親会(会場:未定)

〔第2日〕11月12日(日) 一般教育棟講義室
10:00～17:00(予定) 研究発表、セッション等

- ◇参加費等
参加費 正会員 事前支払3,000円 当日支払3,500円
正会員のうち大学院生(修士課程・博士課程・研究生在籍者)
事前支払1,500円 当日支払2,000円
学生会員(大学院生を除く)
事前支払1,500円 当日支払2,000円
非会員(第2日のみ) 1,000円
- 懇親会費 正会員5,000円
学生会員と正会員のうち大学院生2,500円
弁当代(第2日)800円(予定)

◇大会実行委員会

小西潤子(実行委員長) 小塩さとみ(本部総務)
高松晃子(本部経理) 岡田恵美 金城厚 久万田晋
古謝麻耶子 高瀬澄子 三島わかかな

◇広告募集

大会実行委員会では、プログラムに広告を出して下さる
広告主を募集中です。ご自身やお知り合いの最近の出版物等
の広告を依頼できそうな出版社、その他音楽関係の業者があ
りましたら、6月9日(金)までにお知らせください。こち
らより、広告打診に必要な情報をお送りします。

大会実行委員会広告担当アドレス: tog68ad@gmail.com

第68回大会の研究発表募集

第68回大会における研究発表を下記の要領で募集します。
会員の多彩な内容の発表を期待します。

◇発表形態

- (A) 個人 発表形態: 口頭発表・映像発表
(発表20分、質疑応答10分)
- (B) 共同 発表形態: セッション・パネルディスカッション・
シンポジウム等
(90~120分、質疑応答を含む)

◇申し込み方法

以下の諸項目を明記した書面を、大会実行委員会
まで郵送および電子メールにてお申込みください。郵送
の際には封筒の表に「東洋音楽学会大会発表申込み」と
朱書きしてください。電子メールは、件名を「東洋音楽
学会大会発表申込み」とし、ファイルを添付する場合は
ワード形式またはテキスト形式でお願いいたします。

- (1) 題目(発表形態を付記してください)
- (2) 要旨(Aは800字以内厳守、Bは1000字以内厳守)
- (3) 氏名(Bの場合は、代表者氏名と構成員氏名)
- (4) 連絡先(住所、電話番号、FAX番号、
電子メールアドレス)
- (5) 使用希望機材

送付先:

〒903-8602 沖縄県那覇市首里^{とうのくら}当蔵町1-4
沖縄県立芸術大学音楽学部 音楽文化専攻学科室 気付
東洋音楽学会第68回大会実行委員会
FAX: 098-882-5016
電子メール送付先: tog68okinawa@gmail.com

申込締め切り: 2017年6月30日(金) 必着(厳守)

【注意事項】

発表申込みを受領した時点で、その旨を電子メール/
電話/FAXなどで通知いたします。発表申込み後5日を
過ぎても受領通知がない場合は、至急、上記の大会実行
委員会までご連絡ください。

◇採否

申し込み締め切り後、大会実行委員会で審査を行ったうえで
決定し、結果を全員に通知いたします。

第34回田邊尚雄賞授賞者発表

第34回田邊尚雄賞は、以下のよう^に決定いたしました。

【授賞者・授賞対象】

大内 典

『仏教の声の技: 悟りの身体性』

2016年3月10日発行、京都: 法蔵館

ISBN 978-4-8318-6232-7

【選考経過】

2017年3月19日(日)に開催された第34回田邊尚雄賞選考
委員会において、候補にあがった全7件の選考対象のそれぞれ
について、内容を中心に、さまざまな角度から慎重に審議を重
ねた結果、全員一致で上記1件が授賞にふさわしいとの結論に
達した。

選考委員: 井上貴子(委員長)、奥山けい子、加藤富美子、
中原ゆかり、吉野雪子

【授賞理由】

本書は、平安中期から中世にかけて日本天台の諸活動から生まれ
た声の技に着目し、教理および儀礼において人間の声と聴覚体験に
期待された機能を明らかにするものである。とりわけ「悟り」の変
容を「声」を切り口にして論じ、仏教が日本に定着する過程で儀礼
実践が引き起こす感覚的・身体的効果が活用され、仏智獲得におけ
る身体の役割を天台と鎌倉仏教が認識していたことが明らかにされ
る。分析対象は多岐に渡り、多様な文献に加え民族誌的情報も活用
されている。儀礼や声の技の実践については「パフォーマンス(行
為遂行的)」な分析が用いられ、仏教研究における声や音への注目
の重要性が指摘される。このように、本書は、仏教学、歴史学、音
楽学等の複数の領域から対象にアプローチし、宗教と音あるいは身
体的実践との深い関係性に切り込み、宗教音楽研究に新たな地平を
切り開くものである。また、論理性や方法論的にも新規性が高く、

非常に優れた研究であると評価された。

第35回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第35回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせください。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象: 2017(平成29)年1月1日~12月31日の発行物

受付期間: 随時。締切は2018(平成30)年2月上旬(予定)。

記入事項: 著者名、書名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

送付先: 東洋音楽学会 第35回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3

三春ビル307号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員:(再任) 奥山けい子、加藤富美子、吉野雪子

(新任) 梶丸岳、寺田吉孝

第10回 通常理事会議決事項のお知らせ

2017年4月2(日)に文京区立アカデミー音羽学習室Bにおいて第10回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1) 新入会員について

前回理事会(2016年11月6日)以降に申し込みのあった正会員5名、学生会員5名の入会が正式に承認されました。

2) 平成29年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3) 平成29年度事業計画の件

【添付書類1】の通り承認されました。

4) 平成29年度収支予算の件

【添付書類2】の通り承認されました。

5) 第34回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

6) 第35回田邊尚雄賞選考委員について

奥山けい子、加藤富美子、吉野雪子(以上、留任)、梶丸岳、寺田吉孝(以上、新任)の5氏に委嘱することが承認されました。

7) 長期会費滞納者について

2014年度以降の会費を滞納している会員に再度督促をし、会費納入のない者を退会扱いとすることが承認されました。

8) 参事委嘱について

井上春緒氏に西日本支部参事を委嘱することが承認されました。

9) 平成29年度日本学術振興会育志賞の学会推薦について

本号の関連記事をご覧ください。

名簿作成委員からのお知らせ

本年は学会名簿作成の年にあたります。新しい名簿は、本年8月末発行予定の機関誌に同封されます。同封のハガキに必要事項を記入の上、6月16日(金)までに投函してください。

電子メールでの連絡も受け付けます。学会ホームページ

(<http://tog.a.la9>)から様式をダウンロードして、学会事務所(LEN03210@nifty.com)宛てに6月19日(月)までに送信

してください(メールの件名は「名簿更新」でお願いします)。

いずれの場合もお早めに情報をお寄せください。会員名簿は会員相互の円滑な連絡のために作成するものです。作成には細心の注意を払いますが、会員の皆様にも、個人情報等の管理に充分ご留意くださるようお願いいたします。

メールアドレス変更通知のお願い

名簿に掲載の電子メールアドレスが不達で学会からの連絡が戻ってきってしまうことが増えています。電子メールアドレスを変更した際には、必ず事務局までご一報ください。また、最新版の名簿に掲載されている電子メールアドレスが現在ご使用のものになっているか、今一度ご確認ください。名簿には掲載しないで学会からの連絡用としてのみ届け出る場合には、その旨を届け出時にお書き添えください。

会員の受賞

◇パトリック・サヴェジさんが育志賞を受賞

本学会会員のパトリック・サヴェジさんが、第7回(平成28年度)日本学術振興会育志賞を受賞されました。受賞対象となった研究テーマは「音楽の文化的進化を測る:ブリティッシュ・アメリカンと日本の民謡、ポップス、古典音楽の事例を通して」で、授賞式は3月8日に日本学士院で行われました。

◇川崎瑞穂さんが川崎市文化祭奨励賞を受賞

本学会会員の川崎瑞穂さんが、「川崎市の三匹獅子舞に関する長年の研究」により、川崎市・川崎市教育委員会・川崎市文化協会から2016年度川崎市文化祭奨励賞を受賞されました。

授賞式は2月17日に中原市民館で行われました。

◇徳丸吉彦さんが木村重信民族芸術学会賞を受賞

本学会会員の徳丸吉彦さんが、著書『ミュージックスとの付き合い方：民族音楽学の拓がり』(左右社、2016年)の顕著な業績により、民族芸術学会から第14回木村重信民族芸術学会賞を受賞されました。授賞式は4月22日の同学会第33回大会(鳴門教育大学)の総会で行われました。

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ

1.会費納入のお願い

2016年9月から新しい年度(2016年度)が始まっています。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払くださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員：8,000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6,000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行[口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行[支店名] 〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)

[当座] 0055723

2.会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ(<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>)でご確認の上、お申し込みください。

3.会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

4.卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第83号(2018年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は、機関誌編集委員会において改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ず行ってください)。分量の限度が守られていない投稿がしばしば見受けられます。ご注意ください。

送付先：〒190-8520 東京都立川市柏町5-5-1

国立音楽大学 音楽学研究室内
東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法：プリントアウトした原稿を郵送してください。

ただし、書留郵便にはしないでください。
直接持参、メール添付は受け付けておりません。

締め切り：2017年12月11日(月)必着

ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

1.日本国内委員会(Japan National Committee)の新会長

2016年11月より当学会の会長に就任された遠藤徹氏が、ICTM日本国内委員会の会長にも同時に就任されました。2017年4月発行のICTMの会報(Bulletin)に、日本国内委員会からのお知らせ(Reports from ICTM National and Regional Representatives)として、遠藤氏就任のお知らせ、および氏の簡単なプロフィールが顔写真とともに掲載されています。ICTMの会報は現在オンライン化されており、以下URLにて最新号をダウンロードできます。

<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm>

また上記URLから、会報のバックナンバーの閲覧も可能です。ぜひご覧ください。

2.第44回ICTM世界大会(於：アイルランド)のお知らせ

日時：2017年7月13日～19日

場所：Irish World Academy of Music and Dance, Limerick
(アイルランド、リムリック)

2017年はICTMの創立70周年に当たります。1947年にInternational Folk Music Council (IFMC)として組織された当学会は、のちにInternational Council for Traditional Music (ICTM)と改称し、今日まで学術団体として、またユネスコの諮問機関として活動を展開してきました。70周年を記念する次会の世界大会では以下が学会テーマとして掲げられています。

1. 70 Years of ICTM: Past, Present and Future
2. Legacy and Imagination in Music and Dance
3. Ethnomusicology, Ethnochoreology and Digital Humanities
4. Exploring Music Analysis and Movement Analysis in Ethnomusicology and Ethnochoreology
5. Music, Dance, Religious Politics and Religious Policies
6. New Research on Other Topics

最新のプログラムは、以下よりご覧になれます。

発表申し込みはすでに締め切られましたが、オーディエンスとしての参加は可能です。

詳しくは、大会ウェブサイトをご覧ください。大会ウェブサイトは、ICTMウェブサイト(下記URL参照)内のEventsの項目中の★Next World Conferenceから入ることができます。最新のプログラム <http://ictmusic.org/ictm2017/programme> ICTMウェブサイト <http://www.ictmusic.org/>

3. ICTM 担当委員 (minako.waseda@gmail.com) からのお願い

1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうちICTM会員に対して、担当委員より不定期にICTMに関連するお知らせを一斉送信しています。現在までに一斉メールを受信されていない方、また現在ICTM会員でない方で、今後ICTMに関するメール連絡を希望される場合は、担当委員までお知らせください。

2) ICTM 関連の情報提供について

ICTM内の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に会報を通じて発信します。ご協力よろしくお願いたします。

3) ICTM 会報 (Bulletin) 掲載記事について

東洋音楽学会は、ICTMの日本国内委員会として機能しています。国内委員会からの報告をICTM会報に掲載することができます。ICTM会員の皆様から、ICTM会報に掲載を希

望する報告事項(ご自身の出版物や日本で開催された国際会議の報告、日本における国際学会のお知らせなど)がありましたら、担当委員までお知らせください。

藝術学関連学会連合に関するお知らせ

藝術学関連学会連合では下記の通り第12回シンポジウムを開催します。今回は本学会が東北芸術文化学会とともにオーガナイザーをつとめます。また小日向英俊氏がシタールの実演を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

参加は無料です。詳しくは同連合のウェブサイト (<http://geiren.org/>) をご参照ください。

「21世紀、いま新たに装飾について考える」

日時: 2017年6月10日(土) 13時~17時

会場: デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

3階303(兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4)

アクセス

JR三ノ宮、阪急・阪神線神戸三宮駅、神戸市営地下鉄西神山手線三宮駅より徒歩約20分

神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅より徒歩10分

神戸新交通ポートライナー貿易センター駅より徒歩約10分
バス 神戸市バス29系統 税関前

(デザイン・クリエイティブセンター前) 下車

開会挨拶 礪山 雅(藝術学関連学会連合会長)

趣旨説明+司会(オーガナイザー)

團名保紀(東北芸術文化学会)、遠藤 徹(東洋音楽学会)

報告者 川島 洋一(意匠学会) 「装飾と透明」

高安 啓介(美学会) 「美学無装飾から超装飾へ」

玉蟲 敏子(美術史学会)

「かざりと装飾—日本美術からのアプローチ」

東西の音楽にみる装飾

解説 礪山 雅 遠藤 徹

演奏 鍵盤楽器: 久元 祐子(ピアニスト)

シタール: 小日向 英俊(東洋音楽学会)

コメンテーター 藤田 治彦(意匠学会、美学会、美術史学会)

「東洋と西洋の装飾論—フランスの関連シンポジウムを通じて—」

閉会挨拶 山崎 稔恵(藝術学関連学会連合副会長)

藝術学関連学会連合(藝関連)は、2005年に日本学術会議の藝術学研究連絡委員会(藝研連)の後身として結成された任意団体で、毎年1回シンポジウムを開催しています。

本学会は藝研連に引き続き参加してきましたが、会員の皆様の関心が高いとはいえない状況が長年続いていることから、今回のオーガナイザーを機に参加を見合わせることも検討し始めました。この件について、ご意見がある方は学会事務局 (LEN03210@nifty.com) までお知らせください。

日本学術振興会育志賞の学会推薦について

平成29年度日本学術振興会育志賞の学会推薦に仲辻真帆さんが選出されました。育志賞は平成21年に天皇陛下からの御下賜金によって、優秀な大学院博士課程の学生を顕彰するために創設された賞です。対象分野は人文学、社会科学、自然科学にわたる全分野で、大学院博士課程に在学している34歳未満が対象です。当該大学長、所属する学会長からの推薦をうけて、日本学術振興会が設置した選考委員会によって16名程度が選考されます。本学会では、推薦条件に合う会員の中から、機関誌における論文または研究ノートの掲載実績、大会、例会での発表実績等を勘案して、理事会議決を経て推薦することが前理事会で決定し、今回の仲辻真帆さんの推薦が第1号となります。

東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集(12月、2月例会)について

東日本支部では、2017年12月2日、2018年2月3日の定例研究会での研究発表を募集しています。発表をご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、12月例会については9月20日までに、2月例会については11月20日までに、東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望をご提出後1週間経過しても事務局からの連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307号
東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : tog.higashi@gmail.com

第12回日中音楽比較研究国際学会のお知らせ

標記の会議は、日中両国間の音楽学者の交流と対話を目的に、1995年以来、隔年で開催しております。このたび第12回となる同会議を、下記の通り上海音楽学院で開催する運びとなりました。関心のある皆様の積極的な参加をお待ちしております。参加は本学会会員に限られません。より多く、より広範囲にわたる学者の参加により、日中音楽文化の研究交流を促すことになれば幸いです。

- 1.日時 2017年9月13日(水)～9月15日(金)
- 2.会場 上海音楽学院
- 3.議題

具体的内容に関しては制限を設けませんが、「日中音楽比較研究」を大きなテーマとして、便宜上、以下の分野に分けます。

- 1) 日中に関連する史学、民族、器楽、地域、宗教音楽など
- 2) 近現代日中の作曲家とその作品、及びそれに関連する社会関係など
- 3) 無形文化財、文化政策
- 4) ポピュラー音楽
- 5) 音楽文献・資料、アーカイブ
- 6) そのほかの新研究

4.要旨及び論文の提出期限と宛先

発表希望者は2017年5月31日までに実行委員会に要旨(日本語800字程度、中国語600字程度、英語300語程度のいずれか)および氏名・所属・連絡先を提出してください。同委員会による審査を経て、2017年6月末に発表者をお知らせします。論文(本文および要旨)提出の締切は2017年8月15日とします。

提出先は下記のメールアドレス(中国側、日本側)のいずれかとします。

5.使用言語

論文原稿および発表に使用できる言語は中国語(本文4000字以内)、日本語(本文5000字以内)、英語(本文2000語以内)に限ります。本文中国語の論文には日本語または英語の要旨を、本文日本語または英語の論文には中国語要旨を、必ずつけていただくようお願いいたします。

6.費用の負担

日本からの発表者に対しては、上海滞在中の宿泊費、食費を実行委員会より提供いたします。ただし往復国際交通費は各自負担となります。

7.要旨・本文送付先、および連絡先

次のいずれかにお送りください。

704840769@qq.com（葉琳娜：中国側）

uemura_y@ms.geidai.ac.jp（植村幸生：日本側）

会員異動

会員異動は個人情報保護のため削除しました。

- ◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。
(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)
- ◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)
- ◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2017年1月～4月、到着順)

- 『東方學會報』No.111 (一財)東方学会
- 『楽道』1,2,3月号 (公財)正派邦楽会
- 『雅楽だより』第48,49号 雅楽協議会
- 『阪大音楽学報』第14号 大阪大学音楽学研究室
- 『アラブ古典音楽の旋法体系——アレポの歌謡の伝統に基づく旋法名称の記号論的解釈』
飯野りさ スタイルノート
- 『音楽学』第62巻2号 日本音楽学会
- 『ネパールの結婚式——みんぱく映像民族誌 第22集』
(DVD) 南真木人・寺田吉孝監修 国立民族学博物館
- 『日本近世期における楽律研究——「律呂新書」を中心として』 榎木亨 東方書店
- 『一音成佛』第46号 虚無僧研究会
- 『伝統と創造：東京音楽大学附属民族音楽研究所研究紀要』Vol.6 東京音楽大学附属民族音楽研究所
- 『美学論究』第三十二編 関西学院大学文学部美学研究室

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物、価格(税別)

- 『浅草オペラ——舞台芸術と娯楽の近代』
杉山千鶴・中野正昭(編)、森話社、2,800円
- 『アラブ古典音楽の旋法体系——アレポの歌謡の伝統に基づく旋法名称の記号論的解釈』
飯野りさ(著)、スタイルノート、3,200円
- 『岩手の民俗と民俗音楽 民俗音楽・宝の山シリーズ』
佐々木正太郎(著)、錦正社、1,800円
- 『オペレッタの幕開け——オフエンバックと日本近代』
森佳子(著)、青弓社、2,800円
- 『音楽・情報・脳 放送大学大学院教材(改訂版)』
仁科エミ・河合徳枝(編著)、放送大学教育振興会、2,700円
- 『音楽科における教育内容論の成立と展開に関する研究——授業構成の方法との関連を視野に入れて』

- 山中文(著)、風間書房、8,000円
- 『音楽科授業サポート BOOKS 音楽授業でアクティブ・ラーニング!子ども熱中の鑑賞タイム』
阪井恵、酒井美恵子(著)、明治図書出版、2,060円
- 『音楽と美術のあいだ』
大友良英(著)、フィルムアート社、3,000円
- 『音楽芸術マネジメント(第8号)』
日本音楽芸術マネジメント学会編集委員会(編)、
日本音楽芸術マネジメント学会、3,200円
- 『音楽史を学ぶ——古代ギリシャから現代まで』
久保田慶一(著)、教育芸術社、830円
- 『「学校芸能」の民族誌——創造される八重山芸能』
呉屋淳子(著)、森話社、6,800円
- 『歌舞伎 日本の伝統芸能を楽しむ』
矢内賢二(著)、偕成社、3,000円
- 『奇蹟の爪音——アメリカが熱狂した全盲の箏曲家
衛藤公雄の生涯』 谷口和巳(著)、小学館、1,800円
- 『芸能伝承論——伝統芸能・民俗芸能における演者と系譜』
高久舞(著)、岩田書院、8,000円
- 『口承文芸と民俗芸能——星野岳義著作集』
星野岳義(著)、日本評論社、7,600円
- 『国立劇場・歌舞伎の型(1) 仮名手本忠臣蔵』
神山彰(監修)、十一世田中傳左衛門他(語り)、
国立劇場芸能調査室(編)、雄山閣、1,800円
- 『三代目扇雀を生きる』
中村扇雀(著)、論創社、1,600円
- 『地歌舞伎を見に行こう 大人の学び旅』
産業編集センター(著)、産業編集センター、1,200円
- 『知らざあ言って聞かせやしょう——
歌舞伎名調子による男声合唱組曲』
河竹黙阿弥・初代 並木五瓶(作詞)千原英喜(作曲)、
全音楽譜出版社、1,500円
- 『説経節研究 物語編「三庄太夫」』
説経節の会(編)、せりか書房、2,000円
- 『世礼国男と沖縄学の時代——琉球古典の探求者たち』
末次智(著)、森話社、5,800円
- 『それ日本と逆!?文化のちがひ習慣のちがひ 第2期(3)
ワクワク音楽と物語』
須藤健一(監修)、学研プラス、3,000円
- 『大研究雅楽と民謡の図鑑』
国土社編集部(編)、国土社、3,800円
- 『中世の(遊女)——生業と身分 プリミエ・コレクション』
辻浩和(著)、京都大学学術出版会、3,800円
- 『天皇の音楽史——
古代・中世の帝王学 歴史文化ライブラリー』

豊永聡美(著)、吉川弘文館、1,700円
『伝統行事 47都道府県ビジュアル文化百科』
神崎宣武(監修)、こどもくらぶ(編)、丸善出版、3,800円
『2018年問題とこれからの音楽教育——
激動の転換期をどう乗り越えるか?』
久保田慶一(著)、ヤマハミュージックメディア、2,000円
『日韓音楽教育関係史研究』
藤井浩基(著)、勉誠出版、7,500円
『日本音楽のなぜ?——歌舞伎・能楽・雅楽が楽しくなる
放送大学叢書』 竹内道敬(著)、左右社、1,850円
『日本を知る〈芸能史〉(下巻) 生命の更新』
田口章子(編著)、雄山閣、2,800円
『能・狂言 日本の伝統芸能を楽しむ』
中村雅之(著)、偕成社、3,000円
『能・狂言の誕生』 諏訪春雄(著)、笠間書院、3,500円
『ハイドンの音符たち——池辺晋一郎の「新ハイドン考」』
池辺晋一郎(著)、音楽之友社、2,600円
『バロック音楽を考える——Rethinking Baroque Music』
佐藤望(著)、音楽之友社、2,000円
『「ヒットソング」の作りかた——大滝詠一と日本ポップスの
開拓者たち NHK出版新書』
牧村憲一(著)、NHK出版、740円
『風狂のうたびと——パウルの文化人類学的研究』
村瀬智(著)、東海大学出版部、2,800円
『福岡祭事考説』 佐々木哲哉(著)、海鳥社、5,000円
『フレンチポップス・シックスティーズ——
イエ・イエと称されるムーヴメントをめぐって』
瀬尾雅弘(著)、彩流社、1,800円
『文楽 日本の伝統芸能を楽しむ』
岩崎和子(著)、偕成社、3,000円
『ヘルベルト・フォン・カラヤン
僕は奇跡なんかじゃなかった——その伝説と実像』
カール・レーブル(著)、関根裕子(訳)、
音楽之友社、1,850円
『放送大学教材 舞台芸術の魅力』
青山昌文(編著)、放送大学教育振興会、2,800円
『「マエストロ、時間です」——
サントリーホールステージマネージャー物語』
宮崎隆男(著)、ヤマハミュージックメディア、1,300円
『ライブパフォーマンスと地域——伝統・芸術・大衆文化
(シリーズ・21世紀の地域)』
神谷浩夫・山本健太・和田崇(編)、
ナカニシヤ出版、2,600円
『落語に花咲く仏教——宗教と芸能は共振する 朝日選書』
釈徹宗(著)、朝日新聞出版、1,400円

『落語・寄席芸 日本の伝統芸能を楽しむ』
大友浩(著)、偕成社、3,000円

新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

●CD

『いいあんばい〜明世の唄つむぎ〜』
谷島明世、KICH-309、2,000円
『沖縄島唄 OKINAWA SHIMAUTA 2017』
オムニバス(アーティスト)・神谷千尋・よなは徹・他、
MF0-006、2,314円
『元気で楽しく民踊舞踊振付集/CD+DVD』
オムニバス(アーティスト)・村田英雄・他、
COZA-1306-7、4,167円
『GOLDEN☆BEST 雅 “TAKIO SOHRAN”』
伊藤多喜雄、MHCL-2679、2,000円
『ゴールデン☆ベスト 雅 山本邦山』
山本邦山、UPCY-7257、2,000円
『三遊亭兼好落語集 噺し問屋 寝床/佃祭』
三遊亭兼好、COCJ-39785、2,315円
『時分の聲 本調子・二揚』
玉城和樹、KOKU3-0222、2,500円
『時分の聲 古典女七踊り』
玉城和樹、KOKU3-0223、3,500円
『桃月庵白酒落語集 付き馬/お化け長屋』
桃月庵白酒、COCJ-39784、2,315円
『花』(紙ジャケット仕様)
川畑さおり、(IND)JAB-50、2,000円
『二人囃子』 琵琶デュオ、SW-507、2,300円
『ほたる茶屋/春日とよ栄芝の小唄』
春日とよ栄芝、VZCG-812、2,800円
『八重山歌謡全集』
大工哲弘、ASCD-2012、15,000円
『柳家権太楼 13「朝日名人会」ライブシリーズ 119「青菜」
「井戸の茶碗」』 柳家権太楼、MHCL-2674、2,200円
『玲央 1st』 LEO、COCJ-39898、2,000円

●DVD

『雅楽をはじめよう 箏篋 三曲セット 越殿楽・五常楽急・
陪臚』 教則DVD、天理教道友社、2,700円
『平成29年度 コロムビア 総おどり曲集』
オムニバス(アーティスト)・新内枝幸太夫・他、
COBA-6935、5,556円

編集後記

会報第 100 号をお届けします。この記念すべき第 100 号を担当する者として身の引き締まる思いです。

今号は冒頭に沖縄大会のお知らせを掲げました。皆様の多数のご参加をお待ちしております。ICTM (国際伝統音楽学会)、本学会がオーガナイザーを担う藝術学関連学会連合シンポジウムなどのお知らせ、また田邊賞のほか他機関の賞の受賞記事も掲載しました。受賞者の皆様には心よりお慶び申し上げます。なお、名簿作成年度のため、名簿作成のお願いも掲載しましたので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

なお、支部関連資料同封で発送する必要上、発行日がいつもより早まりました。執筆者の方々には大変厳しいスケジュールの中でご協力いただきましたこと、末筆ながら、厚く御礼申し上げます。

澤田篤子

会報編集委員会

理事：澤田篤子、増野亜子

委員：山下正美

参事：大久保真利子、神野知恵、中川優子、松本民菜、
安原道子、横山洸

第10回通常理事会添付書類

【添付書類1】

平成29年度(2017年度)事業計画

(自平成29年(2017年)9月1日

至平成30年(2018年)8月31日)

【1】研究発表会および学術講演会の開催(定款第5条1)

(1) 公開講演会の実施(定款施行細則第3条1)

- ・日時 2017年11月11日
- ・会場 沖縄県立芸術大学
- ・課題 「沖縄民謡のアーカイヴ(仮題)」

(2) 研究発表大会の実施(定款施行細則第3条2)

- ・日時 2017年11月12日
- ・会場 沖縄県立芸術大学

(3) 次年度大会の準備

- ・日時 2018年10月または11月
- ・会場 未定

(4) 定例研究会(定款施行細則第3条3)

○東日本支部

- ・回数 6回(第99回~第104回 12・2・3・4・6・7月)
- ・会場 東京藝術大学ほか
- ・内容 研究発表、卒業論文・修士論文・博士論文発表ほか

○西日本支部

- ・回数 4回(第278回~第281回 12・2・5・7月)
- ・会場 国立民族学博物館ほか
- ・内容 研究発表、記念講演、修士論文・博士論文発表ほか

○沖縄支部

- ・回数 3回(第68回~第70回 12・3・7月)
- ・会場 沖縄県立芸術大学
- ・内容 研究発表ほか

【2】学会誌および学術図書の刊行(定款第5条2)

(5) 機関誌『東洋音楽研究』の刊行(定款施行細則第3条4)

○第83号の編集、刊行

- ・内容 会員の論文、研究ノート、資料紹介、書評ほか

(6) 会報の刊行

○『東洋音楽学会会報』

- ・第101号(2017年9月)、第102号(2018年1月)、第103号(2018年5月)
- ・内容 会員への諸通知、理事会・総会記録、大会開催案内、大会レポート、図書・視聴覚資料紹介、会員消息

○『東日本支部だより』

- ・第45号(2017年11月)、第46号(2018年3月)、第47号(2018年6月)

- ・内容 東日本支部定例研究会の開催案内・報告、会員の声ほか
- 『西日本支部だより』

- ・第87号(2017年9月)、第88号(2018年1月)、第89号(2018年4月)

- ・内容 西日本支部定例研究会の開催案内・報告、支部会員への諸通知ほか

○『沖縄支部通信』

- ・第37号(2018年1月)、第38号(2018年7月)

- ・内容 沖縄支部定例研究会の開催案内・報告

【3】関連学協会との連絡および協力(定款第5条3)

(7) 日本学術会議への協力

- 日本学術会議協力学術研究団体として協力

(8) 音楽文献目録委員会への参加

- 会員三名を委員として派遣

(9) 国際伝統音楽学会(ICTM)への協力

- 日本国内委員会として加盟

(10) 芸術学関連学会連合への参加

- 会員一名を委員として派遣

(11) 東洋学・アジア研究連絡協議会への参加

- オブザーバーとして参加

【4】研究の奨励および研究業績の表彰(定款第5条4)

(12) 「田邊尚雄賞」(定款施行細則第3条5)

- 第34回田邊尚雄賞の授賞

・日時 2017年11月11日

・受賞者および受賞対象

大内 典

『仏教の声の技：悟りの身体性』

2016年3月10日発行、京都：法蔵館、

ISBN 978-4-8318-6232-7

- 第35回田邊尚雄賞の選考と発表

(2018年4月予定)

【5】研究および調査(定款第5条5)

- (13) 国内または国外における学術調査および研究とくになし

【6】その他目的を達成するために必要な事項(定款第5条6)

- (14) 東洋音楽学会ホームページを通して行なう学会情報の提供

- (15) 独立行政法人科学技術振興機構(JST)電子アーカイブ事業への参加

- (16) 学会創立80周年記念関連事業

総会添付資料の一部は、個人情報保護のため削除しました。

この1枚で世界一周！

音楽鑑賞 Blu-ray Disc

鑑賞教材 初の Blu-ray

迫力ある演奏のみならず、各国の風景、
美しい民族衣装などの文化にも触れることができます！
全ての映像について、研究者によるライナーノーツ付き！

- 世界の民族音楽を知るうえで貴重な映像資料を、
DVDを遥かに凌ぐ高解像度のBlu-rayで鑑賞できます。
- 最新技術のマスタリングによって
立体感あるサウンドが楽しめます。
- 49カ国、86曲を収録

品番：NXS-1 Blu-rayディスク1枚
収録時間 202分
定価（本体18,000円＋消費税）
制作：ビクターエンタテインメント株式会社



株式会社 教育芸術社

〒171-0051 東京都豊島区长崎1-12-15
TEL. 03-3957-1177 (販売部直通) FAX. 03-3957-9223 (受注専用)
<http://www.kyogei.co.jp/>

歌舞伎の音楽・音

配川美加 著

歌舞伎の音楽・音の全体像がつかめる! 出囃子(長唄)、陰囃子(黒御簾音楽)、歌舞伎浄瑠璃(竹本、常磐津、清元)、三曲から橋、ツケ、効果音まで徹底解説。



A 5判・408頁
定価(本体4500円+税)
ISBN978-4-276-13323-5

アフリカ音楽の正体

塚田健一 著

坂本龍一氏推薦! アフリカ伝統音楽の構造を、リズム、ハーモニー、旋律、太鼓、子供の遊びなどを取り上げて解き明かす。著者のフィールド録音がwebで聴ける。



四六判・264頁
定価(本体2400円+税)
ISBN978-4-276-13570-3

合本

日本伝統音楽の研究

小泉文夫 著

B 5判・548頁 定価(本体10000円+税)
ISBN978-4-276-13312-9

民族音楽学12の視点

徳丸吉彦 監修 増野亜子 編

A 5判・192頁 定価(本体2500円+税)
ISBN978-4-276-13510-9

オルフェ・ライブラリー

声の世界を旅する

増野亜子 著

四六判・232頁 定価(本体2500円+税)
ISBN978-4-276-37109-5

日本音楽 基本用語辞典

音楽之友社 編

A 5判・192頁 定価(本体1800円+税)
ISBN978-4-276-00182-4

※重版により、定価が変わる場合がございます。予め、ご了承ください。

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 音楽之友社 TEL 03-3235-2151 FAX 03-3235-2148
<http://www.ongakunotomo.co.jp/>

神道音楽を体系的に集めた唯一の音源集。

日本人の心を貫く神道文化に、音楽面から光を当てた、神道音楽の基本資料となる貴重な音源。一九七六年(昭和五十一年)第三十一回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞作品をCD完全複製。

神道音楽を以下の三系統に分け、代表的なものを集成。

- ① 神社神道の祝詞、祭祀音楽(宮中祭祀を含む)
神社神道の祭式 / 大鼓 / 十種鼓詞 (御神楽(まがくら)) / 阿知女作法 / あがり / 其舞 (夏迎) / 出 / 於舞 / 二歌 / 鬮河歌
- ② 教派神道系の祭典楽
(黒住教の祭典楽) 春 / 管絃 / 連舞 / 玉串 / 神誠奉読 / 歌謡 / 明石の浦 / 清川 (金光教の祭典楽) 中正楽第五 / 天の戸 / 中正楽第四 / 奉幣 / 音取第四 / 中正楽第二十 / 富士の峰 (大本の祭典楽) 管絃曲 / 今様 / 春の調 / 五十鈴川 / 天の歌歌 / 大和御歌の舞
- ③ 民俗芸能における祭祀音楽
(神楽系) 巫女神楽 / 住持神楽 / 有様神楽 / 花祭 (田楽系) 御田植歌 / 田植歌 / 鹿野田楽 / びんざらの舞 / 比叡御口 (祭礼囃子) 風流系) 登山囃子 / 下山囃子 / 鹿舞の囃子 / 七福神の囃子 / 葛西囃子 / 神田囃子 / 船のお遊りの囃子 / やすらい囃歌 / 船囃りの囃子 / 傘舞の囃子 / シヤケリ / 綱引き歌

吉川英史、藤本詩一、高澤信一郎、倉林正次、瀧生郷昭、瀧生美津子、西角井正大、小野祖教、梅原猛など剛界最高執筆陣の解説は、現在に至るまで唯一の神道音楽概説書として高い価値を保つ。

監修 吉川英史 構成 藤本詩一

Music of Shinto

神道音楽集成

4CD VZZG-2 (CD4枚+全228頁別冊解説書)
定価 17,143円+税
(原盤提供株式会社EMIミュージック・ジャパン)

2013年4月24日発売

発売元: 公益財団法人日本伝統文化振興財団 販売元: 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
(問) 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2階 TEL:03-3222-4155 / FAX:03-3222-1118 <http://www.japo-net.or.jp>